令和３年度版

予算からみる
洞爺湖町のしごと

令和３年（２０２１年）４月

洞　爺　湖　町

■ はじめに

洞爺湖町の予算は，法律等に基づき予算書や事項別明細書などを作成し，その内容を明らかにしていますが，一般会計の明細書だけでも 100 ページを超え，町民の皆様が容易に理解できるとはいえないのが実情です。

そこで，予算の内容や主な事業について，グラフや図表を用いて出来るだけわかりやすくお知らせするために「令和３年度版　予算からみる洞爺湖町のしごと」を作成しました。

この冊子をとおして，まちの予算についてご理解をいただければ幸いです。

■ 目　次

１　令和３年度予算の概要

令和３年度の予算は何にいくら使っているの？　1
令和３年度の一般会計の歳入予算はどうなっているの？　2
令和３年度の一般会計の歳出予算はどうなっているの？　3

２　洞爺湖町まちづくり総合計画との関連

令和３年度一般会計予算のポイントは？　4
定住を促す住みよい環境のまちづくり　5
誇れる地域特性を活かしたまちづくり　10
競争力のある地域に根ざした元気産業のまちづくり　13
心豊かに子どもを育むまちづくり　17
やさしさあふれる健康福祉のまちづくり　20
人が輝き賑わいを生み出すまちづくり　22

３　財政状況の推移

これまでの歳入・歳出予算や町債残高（一般会計）の推移は？

歳入予算の推移（一般会計）　24
歳出（目的別）予算の推移（一般会計）　25
歳出（性質別）予算の推移（一般会計）　26
町債（借金）残高の推移（一般会計）　27
基金残高（貯金）の推移（一般会計）　28

４　消費税増税と社会保障の充実

消費税増税分の使いみちは？　29

◇ 町の予算は，千円単位で作成していますが，この冊子ではわかりやすくするために万円単位などで表示しています。そのため，四捨五入する際の端数処理により，金額や割合の合計などが合わない場合があります。

発行：令和３年（２０２１年）４月
編集：洞爺湖町総務部税務財政課財政グループ
０４９-５６９２　洞爺湖町栄町５８番地
TEL：０１４２-７４-３００３　（課直通）
FAX：０１４２-７４-２１２１
http://www.zaisei@town.toyako.lg.jp

令和３年度の予算は何にいくら使っているの？

○各会計予算

区分			令和３年度	令和２年度	増減	伸び率
一般会計			73 億 4,600 万円	76 億　108 万円	△2 億 5,508 万円	△3.4%
特別会計	国民健康保険特別会計		13 億 5,015 万円	14 億 3,547 万円	△8,532 万円	△5.9%
	公共下水道事業特別会計		9 億 5,043 万円	8 億 1,829 万円	1 億 3,214 万円	16.1%
	介護保険特別会計		11 億 9,684 万円	11 億　418 万円	9,266 万円	8.4%
	簡易水道事業特別会計		1 億 3,025 万円	2 億 2,145 万円	△9,120 万円	△41.2%
	後期高齢者医療特別会計		1 億 7,879 万円	1 億 7,246 万円	633 万円	3.7%
	計		38 億　646 万円	37 億 5,185 万円	5,461 万円	1.5%
企業会計	水道事業会計	収益的収支	2 億 5,744 万円	2 億 7,020 万円	△1,056 万円	△4.7%
		資本的収支	2 億 1,528 万円	1 億 4,915 万円	795 万円	44.3%
	計		4 億 7,272 万円	4 億 1,935 万円	△261 万円	12.7%
合計			**116 億 2,518 万円**	**117 億 7,228 万円**	**△1 億 4,710 万円**	**△1.2%**

令和３年度予算は，前年度から続き子育てしやすく，誰もが暮らしやすい生活環境の整備や産業，観光，文化芸術の振興など，当町のまちづくりを着実に推進するための施策・事業に財源を重点配分するとともに，第2期洞爺湖町まちづくり総合計画に基づく実施計画の重点事業に予算を配分した結果，一般会計の予算規模は，令和２年度予算額を２億5,508万円，率にして3.4％下回る，73億4,600万円となりました。

一般会計が減少したのは，令和２年度に実施したアイヌ民族共生拠点施設建設工事，中島森林博物館建設工事，入江・高砂貝塚保存整備事業などの完了によるものが主な要因です。

特別会計は，公共下水道事業特別会計において、長寿命化計画による下水道終末処理場施設整備，介護保険特別会計では，第８期介護保険事業計画の介護報酬改定による保険給付費の増、後期高齢者医療特別会計においては、後期高齢者医療広域連合納付金などが増加し，特別会計全体として5,461万円が増加しました。

○会計について

洞爺湖町の予算は，一般会計と５つの特別会計と１つの企業会計で構成されています。

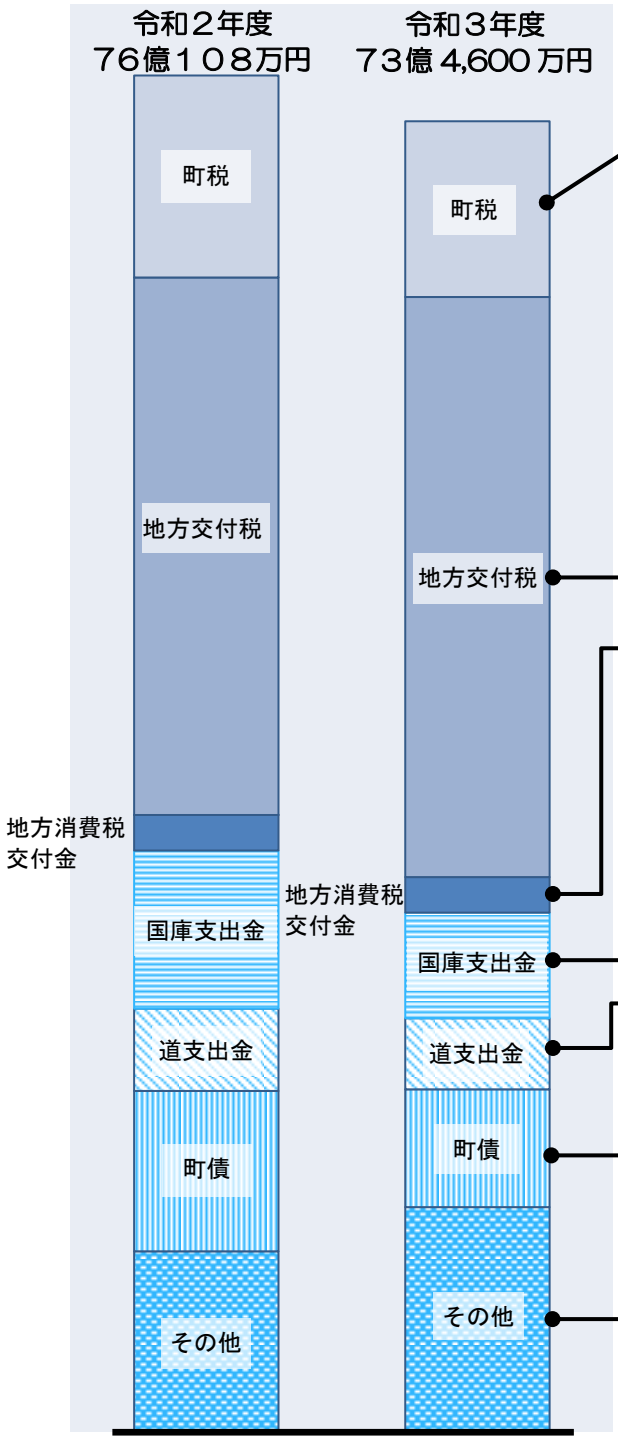
一般会計…道路や公園の整備，小・中学校の管理，福祉事業，町民活動の支援，ごみ処理，健康づくりなど，町民生活全般にわたる支出や収入などを経理する基本的な会計です。

特別会計…特定の収入を特定の事業に使う場合など，一般会計と区別して経理する必要がある場合に設けている会計です。

水道事業会計…水道事業は料金収入によって民間企業と同じようにサービスの提供や経営をしている「公営企業会計」です。

令和３年度の一般会計の歳入予算はどうなっているの？

○歳入予算（一般会計）の内訳



町税　９億8,648万円(対前年度 △1億4,455万円)
町民税，固定資産税，軽自動車税，たばこ税，入湯税など町の収入となる税金です。
新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済の落込みや中小事業者に対する固定資産税の減免額を見込んだことにより、町民税，固定資産税が減、軽自動車税及びたばこ税は前年度実績により減で見込んでいます。

地方交付税　３２億5,000万円（+２億3,800万円）
所得税，酒税，消費税，法人税の一定割合と地方法人税の全額が町の財政力に応じて交付されます。人口減少，合併優遇措置の終了による減が見込まれますが、国の地方財政計画による伸び率を勘案し増加しています。地方交付税の振り替わりである臨時財政対策債を合わせた実質的な額は対前年度比で３億８００万円の増です。

地方消費税交付金　２億円（増減なし）
国に納められた地方消費税の一部が，町の人口などに応じて交付されます。前年度同額を見込んでいます。

国庫支出金　５億9,０５３万円（△２億９，４５５万円）
個別の事業ごとに国から交付される補助金などです。アイヌ政策推進交付金事業，森林博物館新築事業などの終了により減少しています。

道支出金　３億９，８６３万円（△６，３７５万円）
国庫支出金と同じように個別の事業ごとに北海道から交付される補助金などです。民間大規模建築耐震改修事業補助金などの減により減少しています。

町債　６億6,０４０万円（△２億３，８６０万円）
町の借金で，公共施設の建設などのため借り入れたものや，地方交付税の振り替わりである臨時財政対策債などがあります。

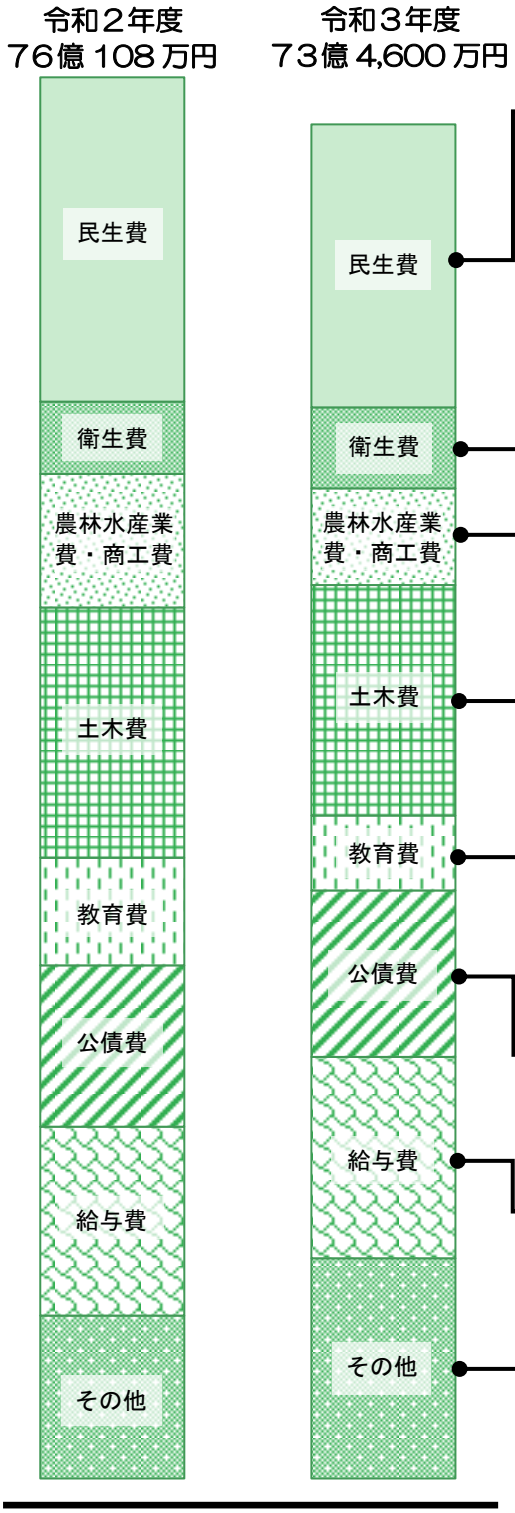
その他　１２億５，９９６万円（+２億４，８３６万円）
地方譲与税や貸付金の元利収入，使用料などです。

歳入では，町税収入を前年度より減収で見込んだほか，地方交付税のうち普通交付税が，町村合併から10年が経過し合併算定替から一本算定への移行による縮減などを見込んでおりますが，国の地方財政計画による伸び率を勘案し増加しています。

また，国庫支出金はアイヌ政策推進交付金事業などの事業終了による減，道支出金は，民間大規模建築耐震改修事業補助金などの減により減少しています。

令和３年度の一般会計の歳出予算はどうなっているの？

○歳出予算（一般会計）の内訳



民生費 15 億 3,557 万円（対前年度△2 億 2,464 万円）
高齢者，障害者，児童などの各種福祉事業や，医療費助成などに使う経費です。アイヌ民族共生拠点施設建設事業の終了などにより減少しています。

衛生費　4 億 3,865 万円（+4,709 万円）
健康福祉センターの運営や町民の健康づくり，各種検診・予防接種，ごみの収集や処理などに使う経費です。新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施や西いぶり広域連合負担金の増などにより増加しています。

農林水産業費･商工費 5 億 2,588 万円（△1 億 9,811 万円）
農林水産業の振興育成や支援，商工や観光振興などに使う経費です。森林博物館新築事業の終了などにより減少しています。

土木費　12 億 4,947 万円（△1 億 942 万円）
道路や公園，町営住宅の維持管理などに使う経費です。町道補修工事などの減により減少しています。

教育費　4 億 651 万円（△1 億 7,555 万円）
小中学校の管理や施設整備，図書館の運営，生涯学習活動など社会教育活動に使う経費です。入江・高砂貝塚保存整備事業の事業費減により減少しています。

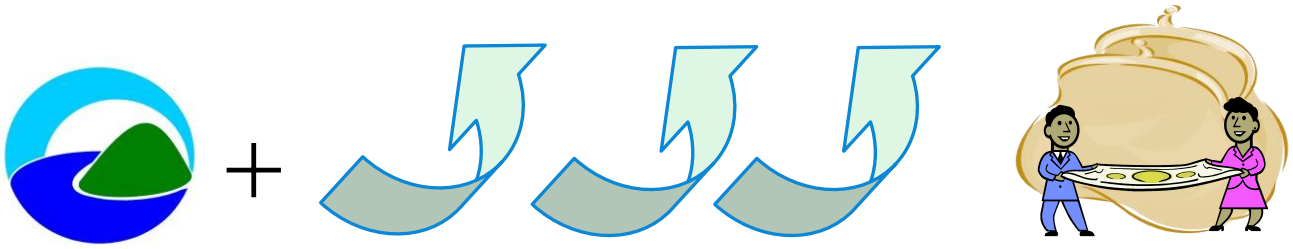
公債費　9 億 371 万円（+2,746 万円）
これまで借り入れた町債（借金）の返済などに使う経費です。借入残高の増により増加しています。

給与費　10 億 9,211 万円（+6,728 万円）
町職員の給料，退職手当など共済組合に対する負担金に使う経費です。

その他　11 億 9,410 万円（+3 億 1,081 万円）
議会費，総務費，労働費，消防費，予備費などです。西いぶり広域連合共同電算システムへの移行費の増などにより増加しています。

歳出では，西いぶり広域連合共同電算システムへの移行費（総務費），新型コロナウイルスワクチン接種事業（衛生費），農業研修センター改修事業（農林水産業費）などを計上していますが、アイヌ民族共生拠点施設整備事業（民生費），森林博物館新築事業（商工費）などの終了により減少しています。

令和３年度一般会計予算のポイントは？



第２期 洞爺湖町まちづくり総合計画

「定住施策の充実」と「交流人口の拡大」

三地域の特性にあった振興策の充実

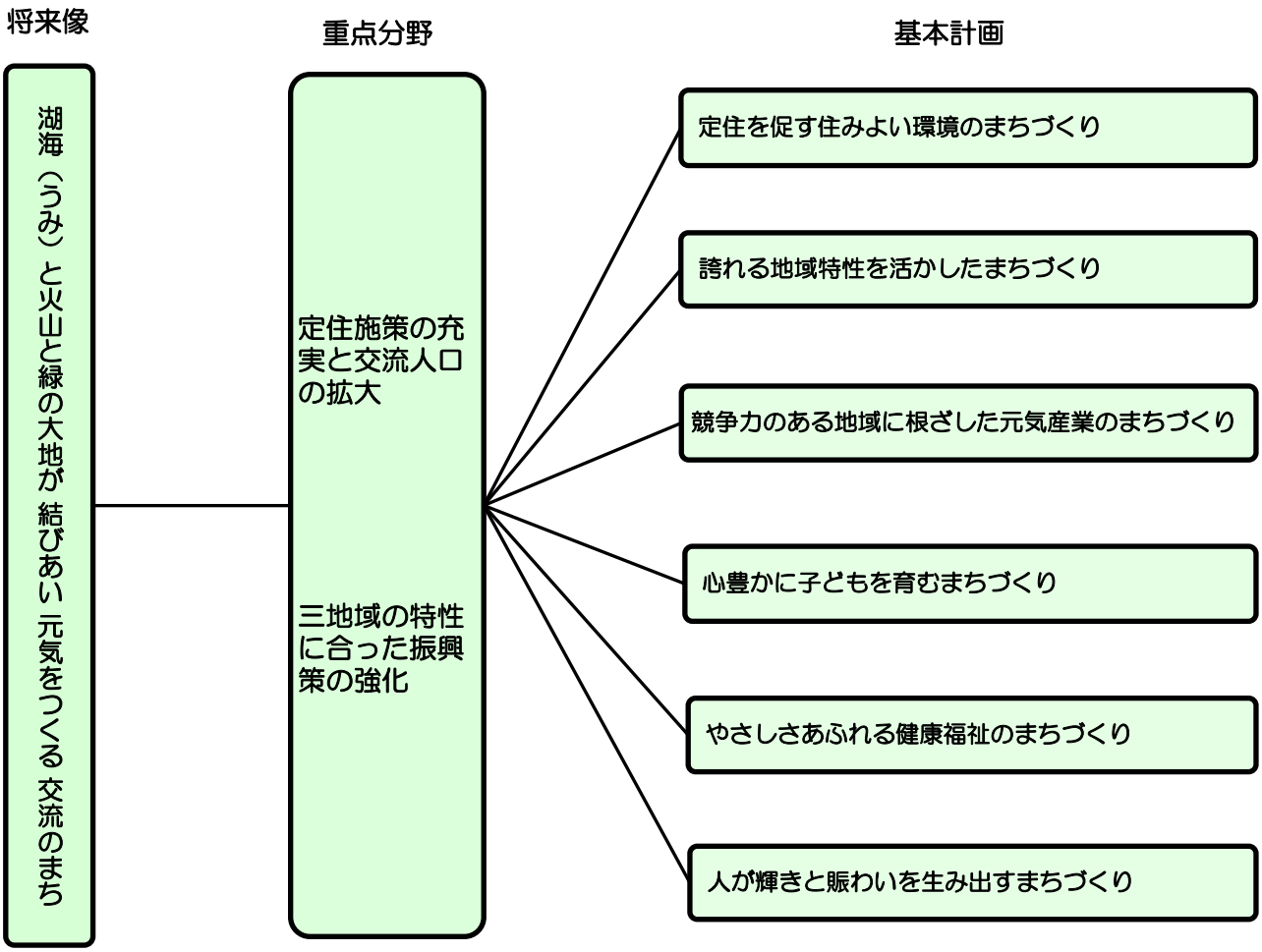
令和３年度予算

第２期洞爺湖町まちづくり総合計画は，合併から１０年のこれまでの検証を踏まえ，社会経済情勢の変化に対応した新たな視点を加え，町の将来の総合的かつ計画的な町政運営を図るための計画（平成２９年～令和８年度）です。次の２点を重点的に取り組む分野として，財源を配分します。

○　定住施策の充実と交流人口の拡大

○　三地域（虻田地区・洞爺湖温泉地区・洞爺地区）の特性に合った振興策の充実

第２期 洞爺湖町まちづくり総合計画



ここからは，第２期洞爺湖町まちづくり総合計画の重点目標ごとに主な事業を紹介します。
今年度の重点分野については，洞龍（トウロン）くんが示しています。

定住を促す住みよい環境のまちづくり

１　道路・交通網の整備

住み良い環境の整備

道路等整備事業

担当課	建設課	継続

老朽化が進む町道，側溝，街路灯などの健全度を把握しながら計画的な改良・修繕等を行い，安心・安全な生活基盤の整備を図ります。

・洞爺湖温泉大通り線改良（R2～R3）
・虻田地区道路等改修

事業費		２億２，205 万円
財源	国	－
	道	－
	町	２億２，205 万円
	うち町債	１億９，650 万円

除排雪対策事業

担当課	環境課	継続

車道 190 ㎞，歩道 30 ㎞の区間を町と民間建設業者（委託）で除雪を行い，冬期間の交通の確保を図ります。
【町の除雪車両の整備，ロードヒーティング，民間委託に要する経費など】

事業費		５，778 万円
財源	国	１，650 万円
	道	－
	町	４，128 万円
	うち負担金	450万円

橋梁長寿命化修繕事業

担当課	建設課	継続

平成 26 年に策定した「洞爺湖町橋梁長寿命化修繕計画」に基づき，平成 27 年度から 10 ヵ年で 13 橋の修繕を実施します。令和３年度は洞爺湖温泉地区の「湯元橋」の修繕などを行います。

湯元橋

事業費		５，870 万円
財源	国	３，301 万円
	道	－
	町	２，569 万円
	うち町債	２，430 万円

地域公共交通対策事業

担当課	企画防災課	継続

高齢者などの交通弱者への対策として，定期的な運行による交通手段の確保や観光客や高齢化に伴うバリアフリー化の向上のため、JR 洞爺駅のエレベーター整備を図ります。

コミュニティバス

・コミュニティバス、買い物支援バスの運行経費等　3,138 万円
・JR 洞爺駅エレベーター整備に係る補助　１億 500 万円
・新地域公共交通計画策定（協議会負担金）　268 万円

事業費		１億３，906 万円
財源	国	51 万円
	道	－
	町	１億 3,855 万円
	うち使用料など	109 万円
	うち町債	９，970 万円

※買い物支援バス（ふるさと納税寄附金を充当）

２　消防・防災体制の整備

西胆振行政事務組合負担金（洞爺湖支署分）

担当課	企画防災課	継続

町民の生活・財産を守り，安全で安心して暮らせるまちづくりを実現するため，消防洞爺湖支署の整備強化を図ります。

- 施設費　614 万円
- 消防署費　986 万円
- 消防団費　1,733 万円

事業費		3，333 万円
財源	国	－
	道	－
	町	3，333 万円
	－	－

西胆振行政事務組合負担金（共通経費分）

担当課	企画防災課	継続

西胆振行政事務組合に対し，必要となる経費を各構成市町（伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町）で按分して負担しています。

伊達市にある西振行政事務組合

事業費		2 億 6,211 万円
財源	国	－
	道	－
	町	2 億 6,211 万円
	－	－

災害対策事業

地域防災力の強化

担当課	企画防災課	継続

防災行政無線やコミュニティＦＭ等の情報伝達手段の維持管理，災害用備品の整備や備蓄，定期的な防災訓練を実施します。

また，町内各自治会が自主的に防災組織を立ち上げ活動を行う場合に助成を行います。

- 自主防災組織設立自治会⇒8 自治会（R2 年度末）

事業費		1，629 万円
財源	国	－
	道	150 万円
	町	1，479 万円
	－	－

新 津波ハザードマップ更新事業

担当課	企画防災課	新規

国で公表した日本海溝・千島海溝における巨大地震に基づき、北海道で道内太平洋沿岸市町村の津波浸水想定区域を公表するため、法に基づき津波ハザードマップを更新し、広く町民に公表します。

事業費		631 万円
財源	国	－
	道	310 万円
	町	321 万円
	－	－

※財源欄について

国：事業を実施するために国から交付される補助金など
道：事業を実施するために北海道から交付される補助金など
町：「国」及び「道」以外の財源。このうち町債など一般財源以外の特定の収入がある場合は「うち○○」として記載しています。

３　上下水道の整備

配水管布設替え事業

担当課	上下水道課	継続

老朽化した水道管の年次的な更新を行い，漏水事故を未然に防止し，将来にわたって水道水の安定的な供給を図ります。

石綿セメント管漏水状

- 高砂地区配水管布設替　3,821 万円
- 新入江地区配水管布設替実施設計　917 万円
- 新清水地区配水管布設替　1,300 万円
- 財田地区配水管布設替　1,413 万円
- 大原地区配水管布設替　978 万円

事業費		8，429 万円
財源	国	293 万円
	道	－
	町	8，136 万円
	うち町債	8，130 万円

配水管等整備事業

担当課	上下水道課	継続

配水管の布設整備により、水道水の安定的な供給が可能となるなど、生活基盤の強化を図ります。

- 洞爺湖温泉大通り線配水管布設（R2～R3）　3,441 万円
- 新国道３７号線配水管布設　329 万円
- 新清水地区配水管布設　254 万円

事業費		4，024 万円
財源	国	－
	道	－
	町	4，024 万円
	うち町債	4，000 万円

上水道施設等設備更新事業

担当課	上下水道課	継続

安全で安心な水道水を安定的に供給するため，更新時期をむかえた監視制御設備の更新を図ります。

計装監視操作盤

- 上水道施設監視制御設備（R2～R11）　4,697 万円
- 新簡易水道施設監視制御設備（R3～R9）　1,980 万円

事業費		6，677 万円
財源	国	－
	道	－
	町	6，677 万円
	うち町債	6，670 万円

下水道施設の更新

担当課	上下水道課	継続

生活する上で欠かせない重要なライフラインである下水道事業で，施設の維持・管理を計画的に行い，長寿命化及び更新費用の低減化を図るとともに，安定的，効率的な運転管理，維持管理を図ります。

- 下水道終末処理場設備更新　２億 5,000 万円
- 下水道終末処理場外改築更新実施設計　2,160 万円
- とうやクリーナップセンター設備更新　8,400 万円

事業費		３億 5,560 万円
財源	国	１億 9,450 万円
	道	－
	町	１億 6,110 万円
	うち町債	１億 6,110 万円

４　廃棄物等の適正処理・リサイクルの推進

西いぶり広域連合による廃棄物処理事業

担当課	環境課	継続

２市３町（室蘭市，伊達市，豊浦町，壮瞥町，洞爺湖町）で構成する西いぶり広域連合に対して，ごみ処理施設等の管理･運営経費を各構成市町で負担しています。

室蘭市内にあるごみ処理施設

【洞爺湖町負担金の内訳】

- 管理費　587 万円
- 施設管理及び運営費 1 億 2,083 万円
- 施設建設・整備費，新施設建設費 100 万円
- 起債償還金　338 万円

事業費		1 億 3,108 万円
財源	国	―
	道	―
	町	1 億 3,108 万円
	―	―

生ゴミたい肥化施設「花美館」運営事業

担当課	環境課	継続

３R運動（発生抑制・再使用・再生使用）の一環として，町内から出る生ごみを処理施設「洞爺湖町リサイクルセンター花美館」へ収集運搬し，たい肥化し住民に還元することにより，ごみの減量化・再生使用を図ります。

花美館施設内部

事業費		2，114 万円
財源	国	―
	道	―
	町	2，114 万円
	―	―

ゴミ収集運搬事業

担当課	環境課	継続

家庭内などから搬出された各種ゴミの適正な収集・運搬を行い，持続可能な循環型社会の構築を目指し，ゴミの減量とリサイクル運動の推進を図ります。

- 一般ごみ収集運搬業務【虻田地区】　6,336 万円
- 一般ごみ収集運搬業務【洞爺地区】　1,082 万円
- 漁業系廃棄物処理運搬業務　330 万円
- 生ゴミ分別収集運搬業務　2,200 万円

事業費		9，948 万円
財源	国	―
	道	―
	町	9，948 万円
	うち手数料	1，988 万円

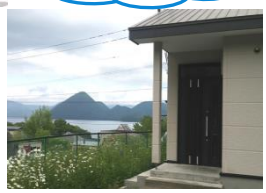
５　移住施策の推進

移住・定住促進事業

担当課	産業振興課	継続

人口減少や高齢化が進む地域の活性化を図るとともに，田舎暮らしを望む都市型住民などのニーズに対応するため，空き家・空き店舗を活用したＵ・Ｉターン者対策，移住体験住宅の整備により移住・定住の促進を図ります。

・ちょっと暮らし事業 33 万円
・チャレンジショップ支援事業 554 万円


移住体験住宅

チャレンジショップ支援

事業費		587 万円
財源	国	―
	道	―
	町	587 万円
	うち使用料	36 万円

地域おこし協力隊活動事業

担当課	産業振興課	継続

地域おこし協力隊は，都市部の若者など地域外の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ，地域力の維持・強化を図る活動で，住民の生活支援や地域の活性化に取り組む活動を行っています。

洞爺湖町では，現在５名の協力隊が，各方面で活躍しています。

事業費		1，754 万円
財源	国	―
	道	―
	町	1，754 万円
	―	―

予算とは？

洞爺湖町が様々な事業を行うための１年間の収入・支出予定です。

予算では，４月から翌年３月までを１年間とし，「年度」といいます。

例えば，「令和３年度予算」は，令和３年４月１日から令和４年３月 31 日までの収入・支出予定を表したものです。

また，予算の収入は「歳入」，支出は「歳出」といいます。

収入（歳入）	支出（歳出）
町税 地方交付税 国庫支出金 など	道路の整備 福祉の充実 施設の維持管理 など

予算では収入と支出の金額が同じになります。

誇れる地域特性を活かしたまちづくり

1　温泉資源の保全と活用

ホテル等入浴助成事業

担当課	健康福祉課	継続

火山の恵みのひとつである温泉に親しみ，地域の特性を活かした温泉入浴効果による健康の増進に役立ててもらうため，町民を対象に町内の各温泉入浴施設での入浴助成を行います。

事業費		472 万円
財源	国	―
	道	―
	町	472 万円
	うち使用料	472 万円

㊐温泉源既存施設改修整備補助事業

担当課	観光振興課	新規

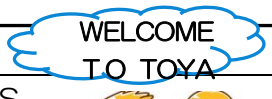
洞爺湖温泉利用協同組合が管理している既存源泉の地熱井トラブル回避のための施設整備を推進し、温泉の安定的な供給を図ります。

温泉源施設

事業費		９６８万円
財源	国	―
	道	―
	町	９６８万円
	うち繰入金	９６０万円

2　観光の振興

観光振興対策事業



担当課	観光振興課	継続

増加する外国人旅行者への対応，ＳＮＳを活用した情報発信の強化など，観光関連団体と連携し，安心，安全，快適な「おもてなし観光地」づくりを推進します。

【Ｒ３　主な事業内容】

- 観光ＰＲ・旅客誘致　215 万円
- 花と緑のまちづくり推進事業 530 万円
- 外国人旅行客受入体制の整備 453 万円
- その他の観光振興施策　5,183 万円
  （洞爺湖温泉観光協会補助金など）

増加する外国人旅行者

洞爺湖ロングラン花火

事業費		6，381 万円
財源	国	424 万円
	道	―
	町	5，957 万円
	―	―

イベント開催による交流人口の拡大

担当課	観光振興課	継続

各種イベントを開催・誘致し，町民の健康増進に資する事業を展開するとともに，観光客誘致を促進し交流人口の拡大を図ります。

- 洞爺湖マラソン大会　　150 万円
- 北海道ツーデーマーチ　300 万円
- 洞爺湖マンガ・アニメフェスタ 200 万円
- 北海道トライアスロン大会　500 万円

温泉街まるまる・コスプレ会場

事業費		1，150 万円
財源	国	―
	道	―
	町	1，150 万円
	うち寄附金	500 万円

※洞爺湖マラソン　クラウドファンディング随時受付中（ふるさと納税対象）

スポーツツーリズムの推進

担当課	観光振興課・庶務課	継続

スポーツ資源と観光の融合を図り，当町ならではの魅力と楽しさを提案する快適な環境を整備し，新たなスポーツ関連のプログラムなどを通じ，スポーツを活かした観光まちづくりを推進し地域の活性化を図ります。

- 月浦運動公園管理運営 430 万円
- 洞爺湖カヌー体験ハウス管理運営 67 万円

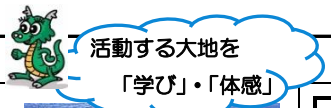
月浦運動公園

洞爺湖カヌー体験

事業費		497 万円
財源	国	―
	道	―
	町	497 万円
	―	―

３　洞爺湖有珠山ジオパークの活用

洞爺湖有珠山ジオパークの活用



担当課	ジオパーク推進課	継続

日本で初めて世界ジオパークに認定された「洞爺湖有珠山ジオパーク」。この大地の恵みを「地域まるごとブランド」として有効活用し，周辺市町と連携を深めながら持続可能な地域の発展を図ります。

- 洞爺湖有珠山ジオパーク協議会負担金　249 万円
- 火山マイスターによる出前講座など　20 万円
- ジオサイト保全・活用など　54 万円
- ジオパークに関するその他施策　69 万円

事業費		392 万円
財源	国	―
	道	―
	町	392 万円
	―	―

４　芸術・文化活動の促進と文化遺産の保存・活用

芸術・文化団体の育成支援事業

担当課	社会教育課・庶務課	継続

町の文化芸術活動を支援し，文化芸術を身近に感じ親しむ機会を提供し，文化遺産の保護と継承を図ります。

洞爺湖芸術館

・洞爺湖芸術館の管理運営　1,075万円
・文化財保存整備　83万円

月浦獅子舞保存会

事業費		1，158 万円
財源	国	－
	道	300 万円
	町	858 万円
	うち使用料等	40 万円

入江・高砂貝塚保存活用事業

目指せ！世界遺産登録

担当課	社会教育課	継続

国の指定を受けた貴重な遺跡等を後世に残すため，史跡入江・高砂貝塚を平成 27 年度から本年度にかけて整備し，教育・社会教育活動などへ有効活用を図ります。

【Ｒ３主な事業概要】

入江・高砂貝塚館リーフレット改訂、貝塚館既存棟屋上・外壁修繕など

事業費		2，241 万円
財源	国	－
	道	－
	町	2，241 万円
	うち町債	2，030 万円

５　自然公園・水辺の整備

公園及び緑化推進事業

担当課	環境課・温泉支所	継続

子供から高齢者まで幅広い町民の利用を目指し，憩いとふれあいの場としての公園の維持管理，花いっぱい運動など町内の緑化・環境美化を推進します。

花いっぱいで「おもてなし」

・公園及び緑化推進事業　1,660 万円
・温泉・月浦緑化推進事業　1,564 万円

事業費		3，224 万円
財源	国	－
	道	－
	町	3，224 万円
	うち繰入金	240 万円

６　大学との連携

酪農学園大学との協定

担当課	農業振興課	継続

洞爺湖のエゾシカやウチダザリガニなどの外来種が生態系に与える影響など，大学が持つ専門的な知識を生かして，洞爺湖の自然環境保全のための調査・研究等を酪農学園大学と共同，連携して図ります。

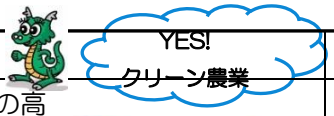
・中島自然環境調査研究業務　200 万円

事業費		２００万円
財源	国	－
	道	－
	町	２００万円
	－	－

競争力のある地域に根ざした元気産業のまちづくり

１　農業・林業・水産業の振興

農業振興対策



安全・安心な農産物を生産し，品質の高い農産物の生産を進める取組がクリーン農業です。その取組に必要な土づくりや土壌分析データの提供，農業生産資材のリサイクル処理の適正化など，持続可能な強い農業づくりへの取組みを支援します。

クリーン農業で生産された馬鈴薯

【Ｒ３　主な事業内容】

- グローバルギャップ認証維持継続事業補助　114 万円
- 廃プラスチック資源リサイクル事業補助　120 万円
- 多面的機能支払推進事業補助　2,327 万円
- 農業次世代人材投資資金交付金　150 万円
- 農業研修センター管理運営経費　777 万円
- 農業研修センター施設改修工事　4,446 万円
- 国営大原畑地かんがい維持管理費　586 万円
- 道営土地改良事業負担金　2,550 万円

担当課	農業振興課	継続

事業費		1 億 1,070 万円
財源	国	－
	道	1，975 万円
	町	9，095 万円
	うち使用料等	242 万円
	うち町債	4，720 万円
	うち繰入金	220 万円
	うち分担金	2，050 万円

農地耕作条件改善事業

財田・川東地区の素掘り及び老朽化した幹線用水路を整備し、漏水によるロス、泥上げ及び草刈りなどの管理労力の軽減を図ることにより、「財田米」の生産力、食味向上及び水稲農業者の安定的な経営の確立を図ります。

※事業年度　Ｒ２～Ｒ４年度

担当課	農業振興課	継続

事業費		3，570 万円
財源	国	－
	道	2，463 万円
	町	1，107 万円
	うち使用料	607 万円
	うち町債	470 万円

有害鳥獣被害防止対策事業

農業経営の安定に寄与することを目的に，洞爺湖町内のエゾシカなどの有害鳥獣を駆除し，農作物・家畜等への被害を防止します。

担当課	農業振興課	継続

事業費		112 万円
財源	国	－
	道	－
	町	112 万円
	－	－

畜産振興事業

担当課	農業振興課	継続

町営牧場の管理運営や家畜の優良増殖を支援し畜産経営の安定化を図ります。

町営成香牧場

- 町営牧場管理経費　320 万円
- 肉牛経営安定対策補助金など　122 万円

事業費		442 万円
財源	国	―
	道	4 万円
	町	438 万円
	うち使用料	180 万円

林業振興事業

担当課	農業振興課	継続

造林や伐採跡地等への植林や下刈り作業を支援することにより，森林資源の循環利用を推進し，森林の有する多面的機能の発揮と山村地域の振興を図ります。

未来へつなごう！森づくり

- 未来につなぐ森づくり推進事業　437 万円
- 造林推進事業　39 万円
- 新私有林等整備事業（保育間伐）　223 万円
- 町有林整備など　92 万円

事業費		791 万円
財源	国	―
	道	300 万円
	町	491 万円
	―	―

水産振興対策事業

豊漁祈願

担当課	産業振興課	継続

「漁業者の経営安定」，「担い手の育成・確保」，「つくり育てる漁業」など洞爺湖町を取り巻く水産情勢に適切かつ迅速に対応し，基幹産業である水産業を将来にわたって維持・発展させるための取組みを支援します。

噴火湾のホタテ

【Ｒ３　主な事業内容】

- 漁業近代化利子補給金　２３万円
- 生物多様性協議会負担金　118 万円
- 虻田救難所交付金　40 万円
- 新孵化場屋根等改修事業補助金　693 万円
- 新なまこ養殖漁場整備事業補助金　1,474 万円
- その他各種団体への負担金など　278 万円

事業費		2，626 万円
財源	国	―
	道	1，180 万円
	町	1，446 万円
	うち使用料	268 万円
	うち繰入金	700 万円

漁業系廃棄物処理施設（海の華）運営支援事業

担当課	産業振興課	継続

漁業系廃棄物（ホタテ雑物等）を処理施設へ収集運搬し，堆肥化して地元農業者などへ供給し有効利用を図ります。

・施設運営費補助　1,251 万円

漁業系廃棄物処理施設「海の華」

事業費		1，251 万円
財源	国	－
	道	－
	町	1，251 万円
	－	－

２　商工業の振興

地域活性化支援事業

地域の賑わい創出

担当課	産業振興課	継続

商工会などと連携し，地域経済の活性化に資する各種事業を展開し，町内消費の喚起を図ります。また町内特産品ＰＲを兼ねた食イベントの開催を通じ，町内外から人々が集まる「賑わいの創出」，地元食材を使った「地域ブランド」の確立を図ります。

【Ｒ３　主な事業内容】

・とうや湖ワイン＆グルメ祭り補助　80 万円

・地場産品ＰＲ事業　20 万円

・中小企業振興資金貸付金　500 万円

・洞爺湖町商工会補助金など　2,075 万円

事業費		2，675 万円
財源	国	－
	道	－
	町	2，675 万円
	－	－

住宅リフォーム支援事業

担当課	産業振興課	継続

町内建設業者の利用促進と町内商業者の購買促進につなげるため「住宅リフォーム支援事業」を実施し、対象となる住宅等リフォーム工事（町内事業者に限定）を行う町内在住者に対し、町内で使用できる商品券（商工会が発行）を発行し、町内地域経済の活性化を図ります。

受付窓口は商工会

・30 万円以上 50 万円未満の工事

　⇒5 万円の町内商品券を助成

・50 万円以上の工事～

　⇒10 万円の町内商品券を助成

事業費		800 万円
財源	国	－
	道	－
	町	800 万円
	うち町債	800 万円

道の駅等施設維持管理事業

担当課	産業振興課	継続

情報や交通，農水産物をはじめとする物産品や人々の交流拠点である道の駅等の利便性を向上し，施設の適切な維持・管理を図ります。

道の駅あぶた

・道の駅等施設維持管理　708 万円

道の駅とうや湖

事業費		708 万円
財源	国	―
	道	―
	町	708 万円
	うち使用料など	37 万円

ふるさと納税の普及・推進事業

洞爺湖の魅力・発信

担当課	総務課	継続

ふるさと納税による寄附に対し，返礼品として洞爺湖町の地元特産品を贈呈し，当町及び地場産品の PR を図ります。

人気のイクラ＆ホタテ

返礼品の贈呈は，1 万円以上の寄付をされた町外在住者の方が対象です。バリエーションに富んだ魅力ある特産品を用意しています。

【歳入】ふるさと納税寄附金はどうなっているの？

R 1 実績　7,285 万円（うちトライアスロン寄附金 762 万円）【2,588 件】

R2 実績　7,567 万円（うちトライアスロン寄附金 282 万円）【3,449 件】

R3 見込　10,800 万円（うちトライアスロン寄附金 500 万円）

事業費		5，367 万円
財源	国	―
	道	―
	町	5，367 万円
	うち寄附金	4，999 万円
	うち諸収入	206 万円
	うち繰入金	110 万円

R3　ふるさと納税寄附金随時受付中！

全国の皆様から頂いたふるさと納税寄附金の一部は，次代を担う子ども達の「子育て支援施策」の貴重な財源として有効に活用を図っています。

予算案作成の判断基準

各課が次年度に必要と検討し、予算要求したものはどれも重要なものですが、限られた財源を適切に配分するため、おおまかには以下の手順を踏みながら予算編成作業を行っています。

① 経常的にかかる経費（職員の人件費，過去に借りた町債の償還金など）に財源を割り当てます。

② その年度の予算編成における重点分野や洞爺湖町まちづくり総合計画などに基づき、①以外の臨時的な事業にそれぞれいくら投資するかを町長が最終的に判断します。

法律などによって必ず支払わなければならない費用も多く、町長の裁量で投資できる額は必ずしも多くはありませんが、経常的にかかる経費も含めて政策的に不要不急な事業が無いか検証して、必要な事業に適切に予算を配分するよう努めています。

心豊かに子どもを育むまちづくり

１　結婚や出産の希望をかなえる環境づくり

妊産婦支援事業

担当課	健康福祉センター	継続

安心して出産・育児ができる環境づくりを推進し，乳児の健全な育成を図ります。

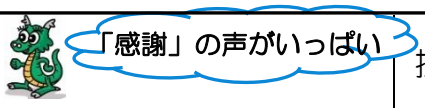
また，医療保険が適用外の不妊治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減や未熟児療育医療費に助成を行います。

- 妊産婦健康診査　387 万円
- 新生児聴覚検査　24 万円
- 新産後ケア事業　17 万円
- 新多胎妊婦健康診査　4万円
- 新妊娠判定費扶助　35 万円
- 不妊治療費助成事業　10 万円
- 未熟児養育医療費助成　10 万円
- おむつ用ごみ袋支給　19 万円

事業費		506 万円
財源	国	43 万円
	道	5 万円
	町	458 万円
	うち繰入金	10 万円

２　子育て支援の充実

子育て支援対策事業



担当課	健康福祉課・健康福祉センター・管理課・住民課	継続

子育て支援施策の充実

当町でも人口減少・少子化が進行する現状をふまえ，妊娠期から子育て期の育児相談等の支援や、子育て中の家庭の経済的負担を軽減し，安心して子どもを生み育てることができ，子どもが健やかに育つ環境づくり，子育てを地域全体で支えるために，町が支援を行います。

【R3　主な事業内容】

- 新子育て世代包括支援センター事業　１０９万円
- 出産祝金の支給 240 万円
- 中学生以下の医療費無料（制度拡大分） 1,200 万円
- 中学生以下のインフルエンザ予防接種無料 258 万円
- 育英資金の給付・貸付　100 万円
- 洞爺地区等高校生通学費助成　300 万円
- 保育所給食費の半額減免　230 万円
- 中学生ピロリ菌検査　８万円

事業費		2，445 万円
財源	国	36 万円
	道	36 万円
	町	2，373 万円
	うち町債	1，200 万円
	うち繰入金	920 万円

※ふるさと納税寄附金を充当

３　保育サービスの充実

子ども子育て支援事業

担当課	管理課	継続

平成 27 年４月から施行した「子ども・子育て支援新制度」により，本町保育所内に子育て支援センターを設置し，就学前の児童及びその保護者を対象に子育て不安の緩和など，子どもの健やかな育ちへの支援と充実を図ります。

親子ふれあい遊び

・子育て支援センター運営費　551 万円

【主な活動内容】

保育所解放，子育て相談，親子ふれあい遊び，子育てセミナーなど

事業費		551 万円
財源	国	183 万円
	道	183 万円
	町	185 万円
	－	－

一時預かり保育事業

担当課	管理課	継続

保育所等を利用していない家庭においても，一時的に家庭での保育が困難となる場合や育児疲れによる心理的･身体的負担を軽減するため，保育所（本町・桜ヶ丘・洞爺）において児童を一時的に預かり，保護者の育児負担の軽減を図ります。

事業費		693 万円
財源	国	231 万円
	道	231 万円
	町	231 万円
	うち利用料	42 万円

児童会運営事業

担当課	社会教育課	継続

放課後児童クラブ（虻田・温泉・洞爺地区の３カ所で設置）は，保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に遊びや生活の場を提供する就労支援事業で，児童の健全な育成を図ります。

事業費		1，874 万円
財源	国	640 万円
	道	640 万円
	町	594 万円
	うち負担金	198 万円

４　学校教育の充実と学習環境の整備

小中学校コンピューター配置事業

担当課	管理課	継続

町内各小中学校教育用コンピューター導入に基づきパソコン・タブレットを通じての学習やインターネット上の教育情報通信網への参加など，児童の豊かな感性，創造性を育成します。

・小学校コンピューター配置　1,493 万円

・中学校コンピューター配置　　858 万円

事業費		2，351 万円
財源	国	165 万円
	道	－
	町	2，186 万円
	－	－

教育支援体制の充実

教育現場をサポート

担当課	管理課	継続

学校と地域が連携し地域全体で児童生徒の成長を支えるためのコミュニティ・スクール（学校運営協議会）を設置し、また特別支援教育支援員，介護員を配置し学校現場における児童生徒のサポート体制の充実を図るとともに，学力向上支援員を配置し基礎学力の向上に努めます。

・コミュニティ・スクール　59 万円

・教育支援員，介護員，学力向上支援員の配置　5,269 万円

事業費		5，328 万円
財源	国	－
	道	－
	町	5，328 万円
	－	－

５　子どもが遊べる環境づくり

公園・遊具の改修・更新

担当課	建設課・観光振興課・環境課	継続

人気遊びスポット「噴水広場」

遊具の点検や老朽化した施設の更新により安全・安心な公園施設の整備に努め，幼児や児童をはじめ利用者の笑顔があふれ，愛着や親しみが持たれる公園環境づくりを図ります。

・都市公園等遊具点検　43 万円

・噴水広場・洞爺メモリアル公園管理など　190 万円

事業費		233 万円
財源	国	－
	道	－
	町	233 万円
	－	－

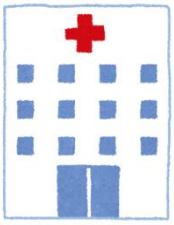
やさしさあふれる健康福祉のまちづくり

1　医療体制の充実

医療・救急診療体制支援事業

担当課	健康福祉センター	継続

胆振西部４市町との共同事業や夜間や休日の救急医療体制を担う病院を支援し，地域医療の安定と安心を図ります。



- 小児救急医療支援事業　57 万円
- 救急医療啓発普及事業　53 万円
- 夜間救急医療対策支援事業　404 万円
- 広域救急医療対策支援事業　198 万円
- 周産期医療確保支援事業　338 万円
- 洞爺協会病院に対する救急診療体制支援事業　2,300 万円

事業費		3，350 万円
財源	国	―
	道	―
	町	3，350 万円
	―	―

予防接種・各種健診事業

担当課	健康福祉センター	継続

疾病の早期発見や正しい健康意識の普及・啓発により，町民の健康の増進を図ることを目的に各種予防接種，健診の充実を図ります。

- 各種ワクチン接種　1,653 万円
- 基本健診　210 万円
- がん・結核検診　1,286 万円
- 脳ドック検診　70 万円
- 虫歯予防対策　54 万円
- １歳６ヶ月・３歳児総合健診　71 万円

事業費		3，344 万円
財源	国	39 万円
	道	19 万円
	町	3，286 万円
	うち負担金等	328 万円

2　地域福祉の充実

地域食堂運営補助事業

担当課	健康福祉課	継続

一人で食事を取る「孤食」になりがちな家庭の子どもや高齢者が集い，食事をともに楽しみながら，会話と笑顔に満ちあふれた世代間で交流が持てる居場所づくりのために地域食堂を開設するＮＰＯ法人へ支援をいたします。

地域食堂「ほのぼの」

事業費		450 万円
財源	国	―
	道	―
	町	450 万円
	うち繰入金	450 万円

新生活館（ウトゥラノ）管理運営事業	担当課	健康福祉課	新規

アイヌ民族について地域の人たちが理解し、ともにアイヌ文化を伝承していくために、民具類レプリカの展示、各種教室や研修会を開催するなどアイヌ文化を身近に感じてもらえる地域の拠点施設となるよう利用促進を図ります。

生活館（ウトゥラノ）

・アイヌ文化体験教室、伝承者育成事業　155万円
・コミュニティ活動コーディネイト委託　300万円
・施設維持管理　115万円

事業費		570 万円
財源	国	364 万円
	道	68 万円
	町	138 万円
	―	―

３　高齢者福祉の充実

高齢者支援・福祉サービス事業	担当課	健康福祉課	継続

高齢者（70歳以上）の皆さんが，住み慣れた地域で安心していきいと暮らし，健康で社会参加ができるよう，支援体制の充実を図ります。

高齢者運動会

【Ｒ２　主な事業内容】
・長寿祝い金支給（88歳・100歳）　306万円
・高齢者入浴・交通費助成　1,122万円
・在宅高齢者緊急通報システム設置　107万円
・配食・軽度生活援助サービス（ヘルパー，除雪）　326万円
・高齢者生きがい振興（高齢者運動会・老人クラブ連合会補助）110万円

事業費		1，971 万円
財源	国	―
	道	44 万円
	町	1，927 万円
	うち使用料等	496 万円

４　介護予防・生活支援サービスの充実

地域包括支援センター支援事業	担当課	健康福祉課センター	継続

高齢者が住み慣れた地域で活動的にその人らしい生活を継続するため，地域包括支援センターに，専門職員（社会福祉士，主任ケアマネージャー，保健師）を配置し，介護予防サービス等の提供を含めた保健・医療・福祉に関する相談・支援等に対応する「地域包括ケア」を推進します。

事業費		6，083 万円
財源	国	2，104 万円
	道	922 万円
	町	3，057 万円
	うち保険料等	2，025 万円

人が輝きと賑わいを生み出すまちづくり

1　協働・自立のまちづくりの推進

各種審議会・町政懇談会等の開催	担当課	企画防災課	継続

町民の皆様との意見交換，各種審議会や事業への参画を通じて，地方創生や行財政改革などをまちの取組みに反映し，持続可能なまちづくりを目指します。

（「まちづくり審議会」・「行財政改革審議会」・「地方創生有識者会議」・「町政懇談会」など）

人口減への対応

事業費		34 万円
財源	国	―
	道	―
	町	34 万円
	―	―

2　国際交流・地域間交流活動の推進

姉妹都市・友好都市との交流事業	担当課	議会・管理課・社会教育課	継続

姉妹都市である神奈川県箱根町，友好都市である香川県三豊市との相互親善訪問による交流事業を行い，互いの町の歴史や文化，産業等について理解を深め，郷土の発展に寄与する姿勢を養います。

箱根町中学生交流

- 箱根町中学生交流事業　116 万円
- 三豊市フレンドリーツアー（町内6年生）320万円
- 新 町議会議員箱根町親善訪問等　196 万円

三豊市フレンドリーツアー

事業費		632 万円
財源	国	―
	道	―
	町	632 万円
	うち負担金	105 万円
	うち繰入金	300 万円

国際交流活動事業	担当課	庶務課	継続

英国青年２名を受け入れ，ボランティア活動を通して，地域の人たちとの交流を深め，子どもから高齢者まで国際感覚を養い，多様な国際交流活動の促進を図ります。

歓迎レセプション

事業費		174 万円
財源	国	―
	道	―
	町	174 万円
	―	―

３　青少年の健全育成

青少年等の健全育成事業	担当課	社会教育課	継続

感性を育む地域未来塾

青少年の健全な育成のため，学校・家庭・地域が連携し，体験学習や交流活動事業を通じて豊かな人間性を育てます。また，各分野における地域社会を担う人材育成及び地域活性化事業として，町内団体や個人が自主的な研修等を行った場合に必要な支援を行います。

・人づくり育成事業　123万円
・地域未来塾（ICT通信料など）　376万円
・とうや湖ＧＥＮ　ＫＩＤＳなど　71万円

事業費		570 万円
財源	国	152 万円
	道	133 万円
	町	285 万円
	―	―

４　スポーツ活動の促進

スポーツ振興事業	担当課	社会教育課	継続

各種団体やサークル活動への支援，スポーツ振興のための指導者の育成や確保といった課題に取組み，心身ともに健康で豊かな生活を営むためスポーツ環境づくりを推進します。

・各種スポーツ教室開催　46万円
・体育協会，スポーツ少年団補助　73万円
・スポーツ推進委員，各種負担金など　81 万円

事業費		200 万円
財源	国	―
	道	―
	町	200 万円
	うち負担金	5 万円

５　健全な財政運営

地方債元利償還金	担当課	税務財政課	継続

借金の額を示す公債費

借りたお金（元金）とそれに対する利子の償還金（返済金）です。

将来にわたって使用する公共施設の建設や道路などには多額の費用がかかるため，町債（借金）の償還を通して，現在と将来世代で負担を分かち合っています。

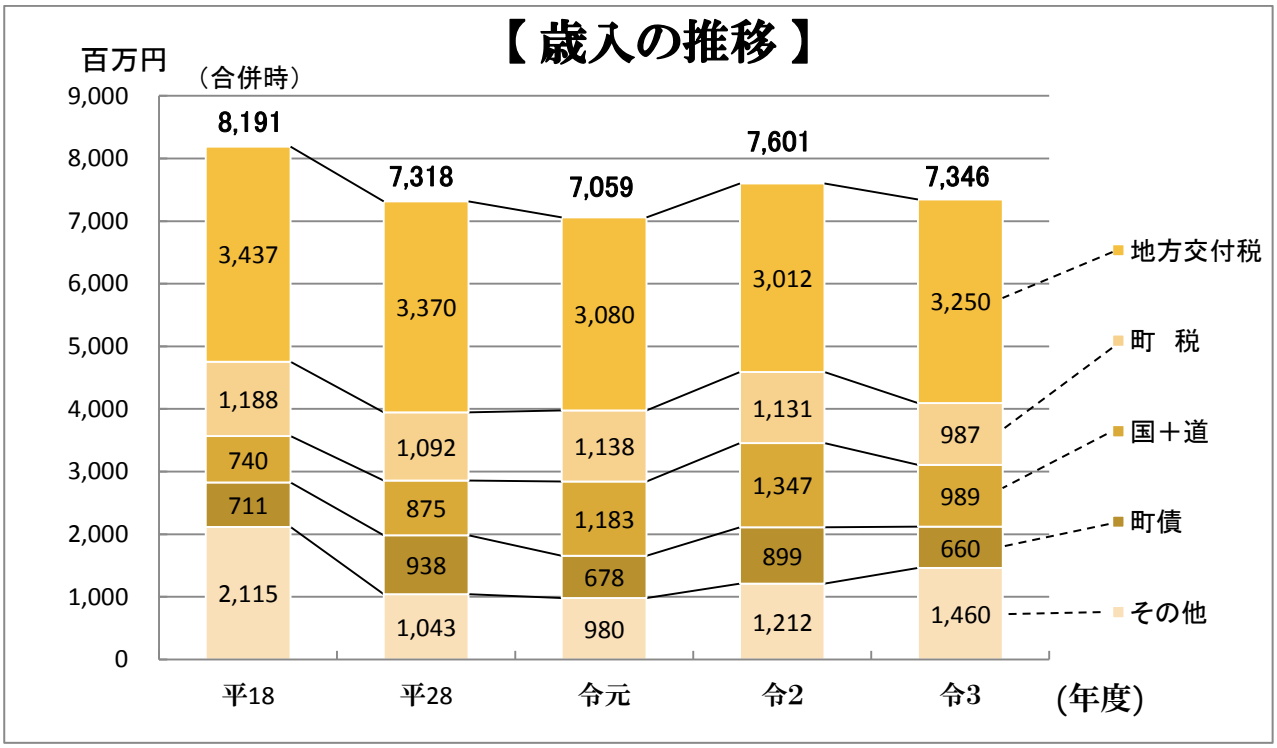
【公債費の推移はどうなっているの？】

Ｒ２年度　８億 5,964 万円
Ｒ３年度　９億　371 万円

事業費		９億 371 万円
財源	国	―
	道	―
	町	９億 371 万円
	―	―

これまでの歳入・歳出予算や町債残高（一般会計）の推移は？

○歳入予算の推移（一般会計）



歳入の推移を示したのが上のグラフです。

町税は，新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済の落込みや、中小事業者に対する固定資産税の減免などを見込み，対前年度を下回りました。

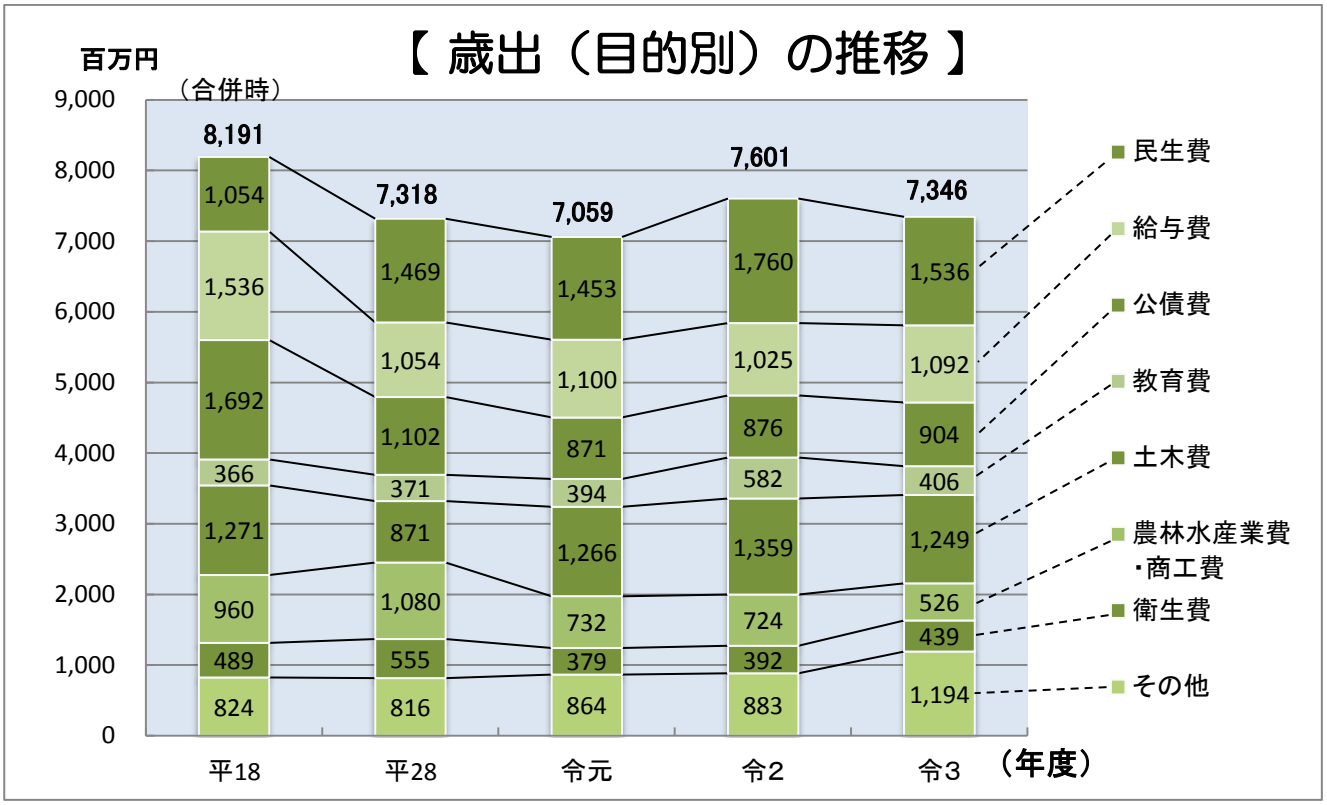
国庫支出金と道支出金の合計額は，扶助費が年々増加することで国や道の負担分が増えていますが，アイヌ政策推進交付金事業，史跡等保存整備事業、民間大規模建築耐震改修補助事業費の減に伴う国庫補助金，道補助金などで減少しています。

町債は，公共施設など投資的事業の財源として発行しており，令和２年度は，洞爺駅エレベーター整備，アイヌ民族共生拠点施設整備，森林博物館建設事業，高砂地区・洞爺湖温泉大通り線等道路整備，史跡入江・高砂貝塚保存整備などで借入れを行いました。令和３年度は，引き続き実施する洞爺駅エレベーター整備，高砂地区・洞爺湖温泉大通り線等道路整備，史跡入江・高砂貝塚保存整備や新たに本庁舎長寿命化事業，農業研修センター改修事業などで借入れを予定しています。

用語のおさらい

- **町税**…町民税，固定資産税，軽自動車税，たばこ税，入湯税など町の収入となる税金です。
- **地方交付税**…所得税，酒税，消費税，法人税の一定割合と地方法人税の全額が町の財政力に応じて交付されます。
- **国庫（道）支出金**…個別の事業ごとに国（道）から交付される補助金などです。
- **町債**…町の借金で，公共施設の建設のために借り入れたものや，地方交付税の振り替わりである臨時財政対策債などがあります。

○歳出（目的別）予算の推移（一般会計）



予算の使いみちについての推移を示したものが上のグラフです。

少子高齢化等の影響により民生費が年々増加し，平成18年度と比較しても46％増（4億8,200万円増）となっています。障害福祉サービスや児童福祉サービスの充実，特別会計への繰出金の影響が大きいものと考えられます。

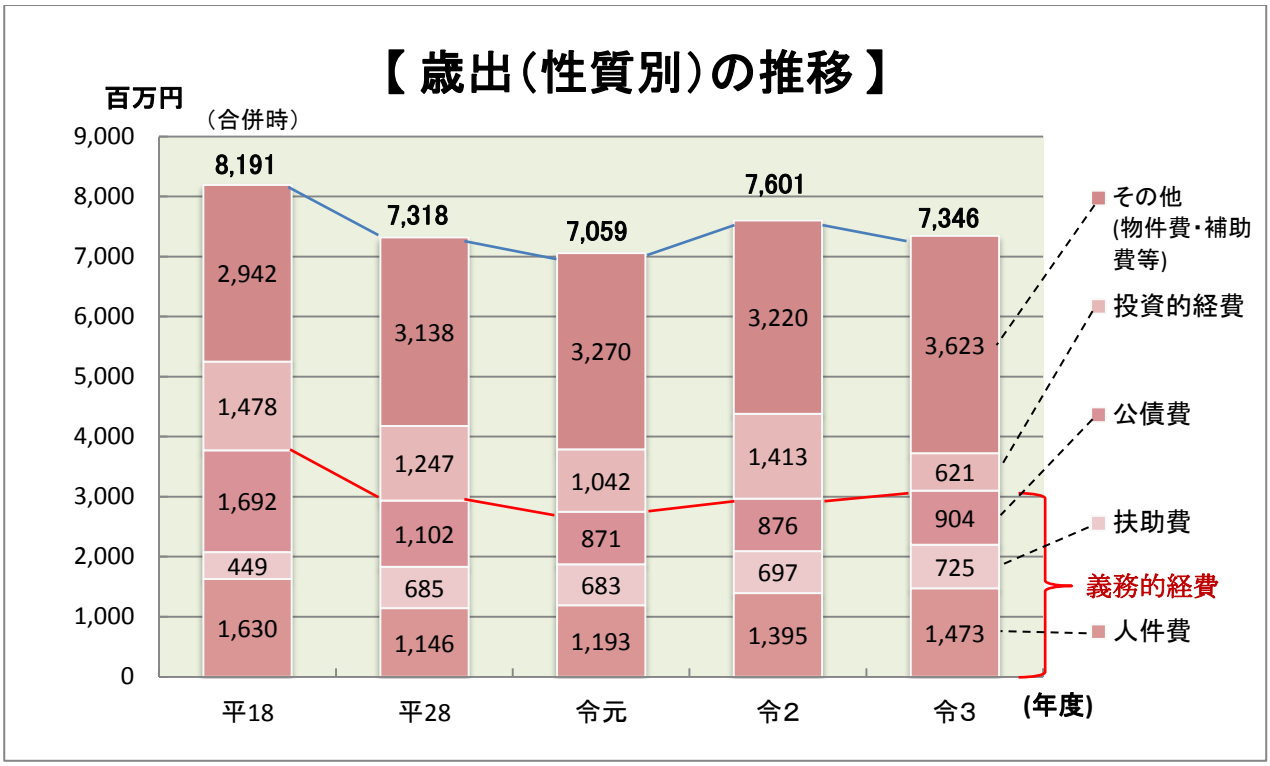
教育費では，文化交流会館解体，史跡入江・高砂貝塚整備などの事業終了に伴い対前年度30％減（1億7,600万円減），土木費では民間大規模建築物耐震補強補助，高砂地区道路等環境整備などが減少し対前年度8％減（1億1,000万円減）となっています。

一方，公債費（借金）は，近年は増加傾向にあり，対前年度３％増（2,800万円増）となっております。また給与費では，定員管理計画による職員数の適正化を進めておりますが，対前年度７％増（6,700万円増）となっております。

用語のおさらい

- **民生費**…高齢者福祉，障害者福祉，児童福祉などの各種福祉事業や医療費助成に使います。
- **衛生費**…健康福祉施設の運営や町民の健康管理，ごみ処理対策などに使います。
- **農林水産業費・商工費**…農林水産・商工業の振興や支援，生産基盤整備，観光振興などに使います。
- **土木費**…町道や公園，橋りょう，町営住宅の整備，除排雪などに使います。
- **教育費**…小中学校や図書館の運営，学校の施設整備，生涯学習活動などに使います。
- **公債費**…施設建設などのために借り入れた町債（借金）の返済などに使います。
- **給与費**…町職員の給料，退職手当などに使います。

○歳出（性質別）予算の推移（一般会計）



歳出予算を，前ページのように民生費や土木費といった行政分野別（目的別）に分類するほかに，上記グラフのように，支出する経費を人件費，扶助費，公債費などの性質別に分類することもあります。

義務的経費のうち少子高齢化などの影響により扶助費が増加傾向，また公債費においても借入増により増加傾向であり，人件費は定員管理計画による職員数の適正化を図っておりますが，令和２年度より実施された嘱託職員等の雇用制度の改正等により増加しております。これらを合計した義務的経費の全予算に占める割合は増加傾向にあり，制度改正や公債費の借入増などにより年々増加しています。

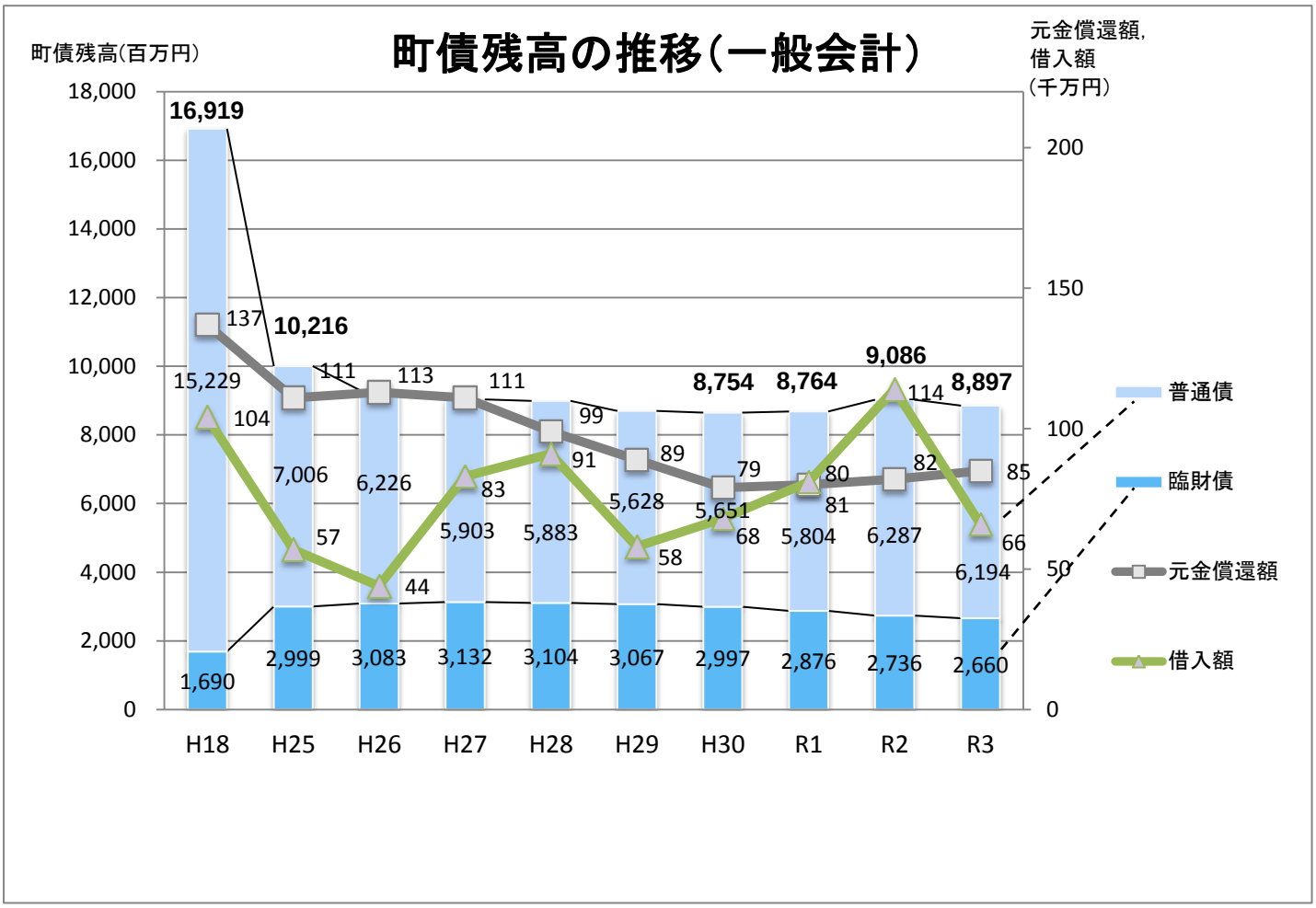
投資的経費は，補助事業で実施したアイヌ民族共生拠点施設建設，森林博物館建設及び入江・高砂貝塚保存活用事業などの事業終了に伴い減少しています。

また、物件費や補助費等のその他の経費は，西いぶり広域連合の共同電算移行経費等の増により増加しています。

用語のおさらい

- **投資的経費**
  町道，公園，公共施設など社会資本の整備を行うための経費です。
- **扶助費**
  高齢者・障害者・児童などを援助するための経費です。
- **義務的経費**
  支出が義務的で，任意に削減することが難しい経費です。この経費の比率が高くなればなるほど，町独自の事業などに対応することが困難になります。

○町債（借金）残高の推移（一般会計）



町債の借入額，元金償還額，残高の推移を示したのが上のグラフです。

公共事業などを抑制することで，合併時の水準と比べ町債残高を着実に減少させてきました。残高の内訳をみると，地方交付税の振り替わりである臨時財政対策債（臨財債）の占める割合が年々減少しています。近年は借入額が増加傾向にあり，令和２年度では，虻田地区町道整備，高度無線環境整備事業などのため，合併特例事業債や過疎債を借入したことで借入額が元金償還額を上回りましたが，令和３年度からは借入額の抑制に努め、町債残高は減少する見込みです。

～洞爺湖町中期財政計画の策定～

洞爺湖町は，平成 20 年度決算で早期健全化団体となりました。平成 21 年 12 月に策定した「洞爺湖町財政健全化計画」に基づき，財政健全化に取り組んだ結果，計画より 1 年早く平成 23 年度の決算で財政健全化団体から脱却しました。

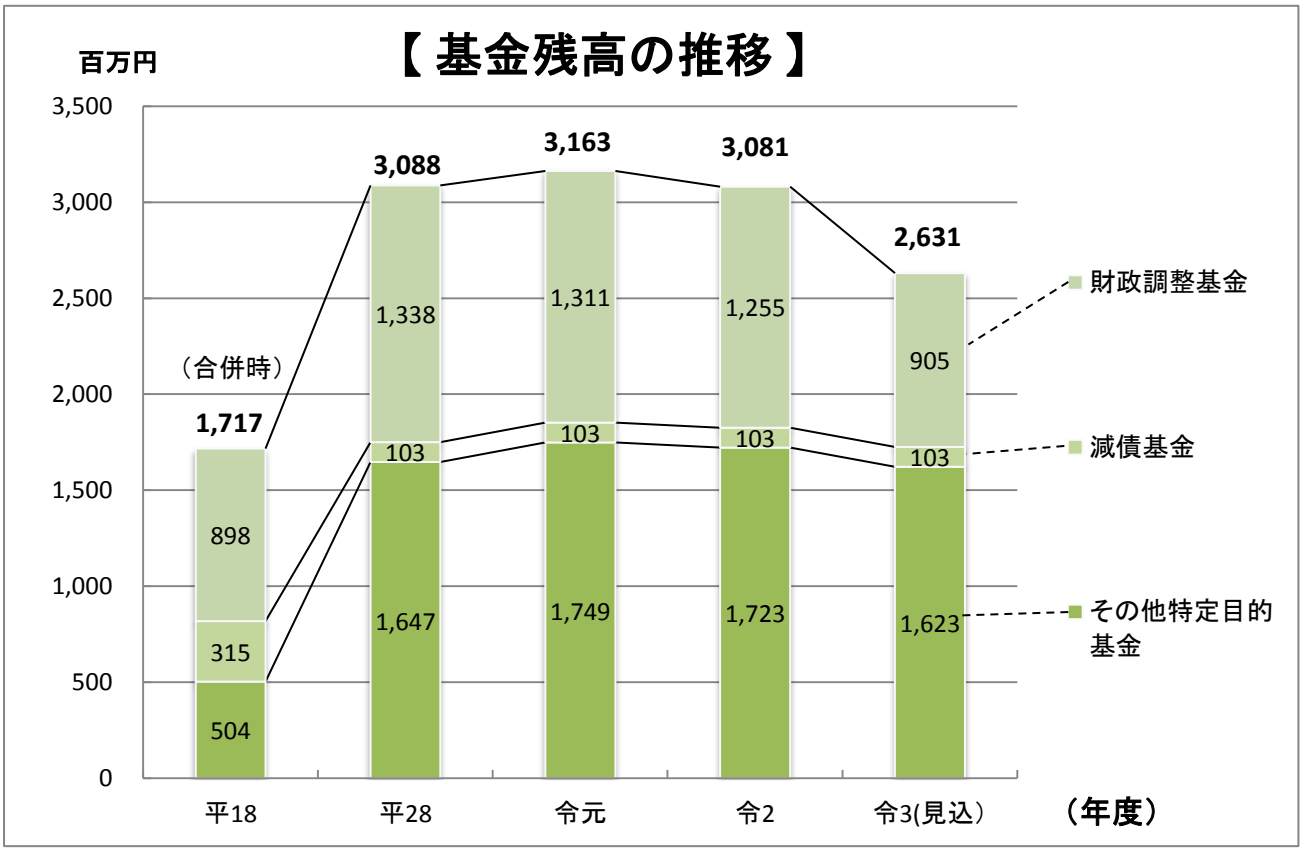
平成 24 年度からは，平成 28 年度までを計画期間とする「洞爺湖町中期財政計画」を策定し，洞爺湖町まちづくり総合計画と連動した財政運営を行ってきました。

平成 29 年度からは，令和３年度までを計画期間とする改訂版である「洞爺湖町中期財政計画」を策定し，収支の均衡を図りながら持続可能な財政基盤の構築に努め，第 2 期洞爺湖町まちづくり総合計画と連動した財政運営を行っています。

○基金残高（貯金）の推移（一般会計）

（百万円）

基　　金　　名			H18	H28	R1	R2	R3（見込）
積立基金	財政調整基金		898	1,338	1,311	1,255	905
	減債基金		315	103	103	103	103
	その他特定目的基金		504	1,647	1,749	1,723	1,623
		観光開発基金	90	4	63	88	118
		公営住宅建設及び維持管理基金	41	22	17	15	13
		畑地かんがい事業基金	32	32	32	32	32
		国営畑地かんがい排水事業振興基金	－	－	70	70	70
		みんなの基金	3	66	65	72	85
		合併地域振興基金	338	1,023	1,025	1,005	927
		洞爺地域ふれあい振興基金	－	11	11	11	11
		公共施設等整備基金	－	489	465	428	365
		森林環境贈与税基金	－	－	1	2	2
	基　金　合　計		1,717	3,088	3,163	3,081	2,631



消費税増税分の使いみちは？

令和元年10月1日から消費税率が8%から10%に引上げられ，このうち2.2%分は地方消費税交付金として洞爺湖町の収入となります。引き上げによる増収分は，高齢者・障害者福祉、子ども・子育てや医療，介護などの社会保障の充実や安定化のために使用することになっています。

令和３年度予算の地方消費税交付金は２億円を見込んでいますが，社会保障財源のための増収分は9,000万円を見込んでおり，次の事業に充当する予定です。

	事業名	事業費	財源		
			国・道など	町	うち地方消費税交付金増収分充当額
社会保障の充実	長寿祝金支給事業	306 万円	－	306 万円	40 万円
	高齢者（入浴費・交通費）助成事業	1,809 万円	492 万円	1,317 万円	200 万円
	緊急通報システム設置業費	107 万円	－	107 万円	15 万円
	配食サービス事業	241 万円	－	241 万円	35 万円
	老人保護措置費支弁事業	1 億 1,848 万円	3,091 万円	8,757 万円	1,000 万円
	心身障害者援助事業	3 億 2,937 万円	2 億 4,676 万円	8,261 万円	1,150 万円
	乳幼児医療助成事業	1,867 万円	1,547 万円	320 万円	320 万円
	児童手当支給事業	8,869 万円	7,502 万円	1,367 万円	300 万円
	児童特別対策事業	2,858 万円	2,047 万円	811 万円	120 万円
	医療対策事業	3,360 万円	－	3,360 万円	500 万円
	予防接種事業	1,653 万円	37 万円	1,616 万円	240 万円
	妊産婦・乳幼児対策事業	540 万円	61 万円	479 万円	70 万円
	保健衛生指導事業	55 万円	6 万円	49 万円	10 万円
	小　計	6 億 6,450 万円	3 億 9,459 万円	2 億 6,991 万円	4,000 万円
社会保障の安定化	国民健康保険事業特別会計繰出金	2 億　0 万円	4,096 万円	1 億 5,904 万円	2,200 万円
	介護保険事業特別会計繰出金	2 億　301 万円	1,409 万円	1 億 8,892 万円	2,500 万円
	後期高齢者医療事業特別会計繰出金	6,190 万円	3,945 万円	2,245 万円	300 万円
	小　計	4 億 6,491 万円	9,450 万円	3 億 7,041 万円	5,000 万円
合　計		11 億 2,941 万円	4 億 8,909 万円	6 億 4,032 万円	9,000 万円